

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、 感染拡大防止と市民生活や地域経済の支援に取り組みました！

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

令和2年4月7日に「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が閣議決定され、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている住民生活や地域経済を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業が実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設されました。

伊丹市では、令和2年度において、地方創生臨時交付金1,732,473千円を活用し、感染拡大防止対策に加え、市民の生活や雇用の維持などに取り組みました。

令和3年度も感染状況や社会経済状況等に応じ、市民の命と健康を守ることを第一に、市民生活や地域経済の支援に引き続き取り組みます。

I 感染拡大防止対策	346,620千円 (279,051千円)
II 生活や雇用の維持と事業の継続支援	1,182,170千円 (1,118,534千円)
III 地域経済の活性化	166,101千円 (104,744千円)
IV 社会的な環境の整備 ・新しい暮らしのスタイルの確立	475,669千円 (450,519千円)

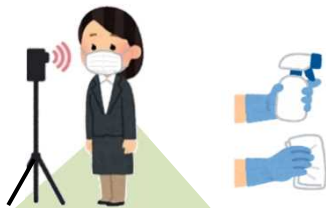
令和2年度決算額 2,170,560千円(1,952,848千円)

※括弧内は国県補助金等を除いた交付対象経費

地方創生臨時交付金を活用した取り組み

I 感染拡大防止対策

- ◆マスク・消毒液等の確保
- ◆医療提供体制の強化
- ◆情報発信の充実
- ◆学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備



IV 社会的な環境の整備 ・新しい暮らしのスタイルの確立

- ◆リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速



III 地域経済の活性化

- ◆観光業、エンターテインメント事業等に対する支援
- ◆地域経済の活性化



II 生活や雇用の維持 と事業の継続支援

- ◆資金繰り対策
- ◆事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援
- ◆生活に困っている世帯や個人への支援



緊急時対応段階

継続・回復段階

I 感染拡大防止対策

公共施設や障がい者支援施設等への消毒液やマスク等の物品の配布に加え、サーモ式体温計等の資機材を整備するとともに、市ホームページ上にAIチャットボットを導入するなど、市民への情報提供を充実させ、新型コロナウイルス感染症拡大を防止する環境を整備しました。

また、コロナ禍での避難所の感染症対策及び生活環境の改善のため、感染防止用間仕切りや送風機・スポットクーラー等を整備しました。

高齢者インフルエンザ予防接種無償化事業

【決算額 102,320千円】

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザが同時期に流行する事態に備え、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者等を対象に予防接種費用を無償化し、接種を推進しました。

概要：予防接種に係る自己負担分(1,500円)の無償化
(令和2年10月1日～令和3年1月31日)

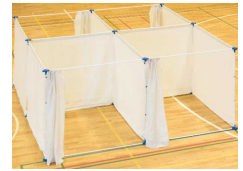


避難所感染症拡大防止対策事業

【決算額 8,421千円】

避難所の感染症対策のため、必要な物品等を配備しました。

概要：感染防止用間仕切りや消毒液等の配備



分類	事業名	予算措置	決算額(千円)	交付対象経費
マスク・消毒液等の確保	中小企業等消毒費補助事業	4月補正	140	140
	妊婦に対するマスク配布事業	4月補正	401	401
	公共施設における感染拡大防止対策事業	4月補正 予備費	13,313	13,313
	避難所感染症拡大防止対策事業	6月補正	8,421	8,421
	避難所における生活環境改善事業	7月補正	9,722	9,722
	スポーツ団体への感染症対策支援事業	7月補正	2,126	2,126
	民営バス感染拡大防止対策補助事業	9月補正	445	445
	交通事業会計繰出・補助	9月補正	12,295	12,295
	救急活動用資機材整備事業	予備費	10,275	10,275
	学校保健特別対策事業費補助金	4月補正 6月補正 12月補正	105,972	53,011
	児童福祉事業対策費等補助金	12月補正	2,196	1,099
	障害者総合支援事業費補助金	4月補正 9月補正	3,160	792
医療提供体制の強化	救急活動用車両資機材等整備事業	4月補正	1,339	1,339
	高齢者インフルエンザ予防接種無償化事業	9月補正	102,320	102,320
情報発信の充実	AIチャットボット利用継続事業	7月補正	2,772	1,507
学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	自転車駐車場学生定期代払い戻し事業	4月補正	1,590	1,590
	給食費の負担対応事業	当初	19,543	19,543
	学童等健康診断事業	予備費	4,630	4,630
	教室扇風機ファン等設置事業	予備費	6,603	6,603
	学校園管理運営事業(光熱水費)	12月補正	14,204	14,204
	スクールカウンセラー活用事業	12月補正	1,506	1,506
	小・中・高等学校宿泊行事中止に係る企画料等支援事業	12月補正 2月補正	4,119	4,119
	4か月児健診の個別健診化事業	5月補正	3,253	3,253
	母子保健衛生費補助金	9月補正	9,308	4,655
	学校臨時休業対策費補助金	6月補正	6,299	1,574
	障害者総合支援事業費補助金	4月補正	668	168
	合計		346,620	279,051

Ⅱ 生活や雇用の維持と事業の継続支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で2度にわたり緊急事態宣言が発出される中、ひとり親世帯の児童扶養手当受給者への支援給付金の支給や生活困窮者の就労支援を強化するなど、市民の暮らしの回復を支援しました。

また、中小・小規模事業者等の事業継続や新たな暮らしのスタイルの確立に向け、店舗等賃料を補助するとともに、飲食店のテイクアウト・デリバリーの利用促進やキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施しました。

児童扶養手当受給者に対する支援給付金事業

【決算額 70,685千円】

ひとり親世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、児童扶養手当の受給者に対し、支援給付金を支給しました。

概要:本市から令和2年4月分の児童扶養手当を受給している方に令和2年6月18日に5万円を給付

生活困窮者就労準備支援事業費補助金

【決算額 5,932千円】

住居確保給付金や緊急小口資金等に係る相談者の利便性向上や生活困窮者等に対する手厚い就労支援を実施する体制を整備しました。

概要:ワンストップ相談窓口の設置と専門スタッフの配置
就労支援員の増員



キャッシュレス決済ポイント還元事業

【決算額 50,336千円】

市内経済の活性化を図るとともに、店舗等での支払い時に現金を取り扱わない「キャッシュレス決済」を推進するため、決済金額に応じて、市独自にポイントを上乘せして還元する利用促進キャンペーンを実施しました。

概要:ポイント還元率を購入金額の25%(上限5,000円)



分類	事業名	予算措置	決算額(千円)	交付対象経費
資金繰り対策	指定管理業務コロナ対策事業	12月補正	174,040	114,852
	病院事業会計繰出・補助	2月補正	300,000	300,000
	交通事業会計繰出・補助	2月補正	300,000	300,000
事業継続に困っている 中小・小規模事業者等 への支援	商店街等テイクアウト促進補助事業	4月補正	2,708	2,708
	休業要請事業者経営継続支援事業	4月補正 6月補正 2月補正	73,783	73,783
	デリバリー支援事業	4月補正	5,670	5,670
	テイクアウト・デリバリー利用促進キャンペーン事業	4月補正 2月補正	7,157	7,157
	個人事業主等への店舗等賃料補助事業	4月補正 2月補正	90,102	90,102
	キャッシュレス決済ポイント還元事業	7月補正 2月補正	50,336	50,336
	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	1月補正 2月補正	26,356	26,356
生活に困っている世帯 や個人への支援	児童扶養手当受給者に対する支援給付金事業	5月補正	70,685	70,685
	新生児特別支援給付金事業	7月補正	75,401	75,401
	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	6月補正	5,932	1,484
	合計		1,182,170	1,118,534

Ⅲ 地域経済の活性化

地域経済が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、商店街等の販売促進事業や日本遺産認定を契機とした「Go To 伊丹キャンペーン」事業等を行い、市内経済の活性化を図りました。

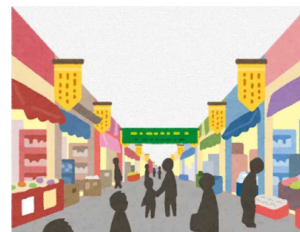
また、感染症対策を講じながら劇場や音楽堂で公演を行う個人や団体に対し、施設利用料の助成を行い、舞台芸術公演再開を支援しました。

商店街等販売促進キャンペーン事業

【決算額 13,210千円】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた商店街等を支援するため、商店街等が取り組む販売促進や消費喚起キャンペーンをはじめとした各種イベントに対する補助制度を拡充し、地域独自の特色ある取り組みを支援しました。

概要: 補助率を1/3から定額補助に拡大
補助上限額を最大50万円から最大150万円に拡充



日本遺産認定記念「GoTo伊丹キャンペーン」事業

【決算額 47,420千円】

令和2年6月、文化庁より「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷が日本遺産に認定されたことを記念し、国が実施する「GoToトラベル」にあわせ、市内観光・宿泊等の旅行商品を、旅行代理店・予約サイト等を経由して購入した際の料金の一部を補助することにより、市内観光業等の支援に加え新たな伊丹ブランドを発信しました。

概要: 旅行代金の最大35%相当額を補助(国・市合わせて最大70%)



芸術文化公演再開緊急支援事業

【決算額 3,539千円】

適切な感染症対策を講じながら劇場・音楽堂で舞台芸術活動を再開する個人や団体の取り組みを支援するため、利用者が施設に支払う施設利用料の1/2を県市協力で助成しました。

概要: 対象施設は東りいたみホール 大ホール、伊丹アイフォニックホール メインホール
対象期間は令和2年7月1日～令和3年2月28日



分類	事業名	予算措置	決算額(千円)	
			決算額(千円)	交付対象経費
観光業、エンターテインメント事業等に対する支援	日本遺産認定記念「GoTo伊丹キャンペーン」事業	7月補正	47,420	47,420
	芸術文化公演再開緊急支援事業	7月補正	3,539	1,770
	シティプロモーション情報発信事業	9月補正	5,445	5,445
地域経済の活性化	商店街等販売促進キャンペーン事業	6月補正	13,210	13,210
	商店街お買い物券事業	6月補正	77,548	27,426
	文化芸術振興費補助金	4月補正	18,939	9,473
		合計	166,101	104,744

IV 社会的な環境の整備・新しい暮らしのスタイルの確立

新たな日常(ニューノーマル)の定着を図るため、官民のテレワークの推進やSNSを活用した防災のIT化を進め、ポストコロナ時代を見据えたデジタル化を推進しました。

また、GIGAスクール構想の早期実現に向け、市内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、ICT教育の基盤を構築しました。

ICT環境整備事業

【決算額 265,219千円】

「GIGAスクール構想」の早期実現に向け、市内の小中学校及び特別支援学校に、1人1台のタブレット端末を整備し、伊丹の未来を担う子どもたちにとって必要な資質・能力を育むICT教育の環境整備を進めました。

概要: 令和元年度に整備した1,000台に加え、令和2年度中に市内の小中学校及び特別支援学校に、1人1台のタブレット端末を整備



コワーキングスペース等利用補助事業

【決算額 1,296千円】

市内のコワーキングスペース等の利用料金の一部を補助し、ウィズコロナ時代の新たな働き方であるテレワークの定着を推進しました。

概要: 対象施設は市が指定するコワーキングスペース等
施設利用料の1/2(レンタル・バーチャルオフィスは上補助限額有)



分類	事業名	予算措置	決算額(千円)	交付対象経費
リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	学習支援対策事業	4月補正	3,320	3,320
	在宅勤務環境整備事業	4月補正	8,314	8,314
	学校ICT環境整備事業	6月補正 9月補正	265,219	265,219
	ペーパーレス施策推進事業	9月補正	36,294	36,294
	Web会議等推進事業	9月補正	11,586	11,586
	テレワーク等推進事業	9月補正	21,225	21,225
	グループウェア更新事業	9月補正	51,111	51,111
	ICT施策推進事業(ヘルプデスク増員)	9月補正	6,490	6,490
	動画等制作装置導入事業	9月補正	2,149	2,149
	地図情報等のホームページ公開事業(統合型GISの活用)	9月補正	5,645	5,645
	ICTによるリモートワーク推進事業	9月補正	216	216
	建築計画概要書等窓口業務電子化事業	9月補正	2,402	2,402
	LINE防災アプリ導入事業(防災情報システム整備)	9月補正	19,071	19,071
	子ども・子育て支援システム等改修事業	9月補正	20,604	0
	コワーキングスペース等利用補助事業	9月補正	1,296	1,296
	デジタル化推進事業	12月補正	1,485	1,485
	CAD端末リモートシステム導入機器整備事業	12月補正	5,888	5,888
	病院事業会計繰出・補助	12月補正	4,260	4,260
	公立学校情報機器整備費補助金	6月補正	9,094	4,548
		合計		475,669